音声認識機能

補足版

Mercedes-Benz

さくいん 2
概要 5
各部の名称 7
コントロール 11
音声コマンドリスト 29
実用的なアドバイス 37
個人の設定 41

1665843981

あ

アドレス帳
音声コマンドリスト......32
操作......22
アドレス帳の音声コマンド
アドレス帳の説明......22
アドレス帳を読み上げる......22
電話帳読み上げ......22
登録先に電話する......22
登録先を検索......22
アプリケーション......8
音声コマンドの種類......8
音声コマンドリスト
アドレス帳の音声コマンド......32
オーディオ/ビデオの音声コマンド......33
全般的な音声コマンド......30
電話の音声コマンド......31
ナビの音声コマンド......31
音声認識
開始......9
中止......9
音声認識学習......42
音量
調整......9

か

外部機器......27
確認
電話の音声コマンド......13
言語設定......44
コマンドリスト
電話......12

さ

施設......19
住所の入力......17
消去
電話の音声コマンド......13
数字を入力する......38
全般的な音声コマンド
音声コマンドリスト......30
専用
音声コマンド......8
操作
アドレス帳......22
電話......12
ナビ......15
ラジオ......23
CD......25
DVD......25
TV......26

た

着信履歴......15
ディスプレイ......10
テレビ
音声コマンドリスト......34
テレビの音声コマンド
オートプリセット......27
シークアップ/シークダウン......26
説明......26
チャンネルを選択する......26
放送局リスト読み上げ......27
電話
音声コマンドリスト......31
操作......12
電話帳
読み上げ......14
電話の音声コマンド
確認......13
着信履歴......15
電話帳読み上げ......14
電話の説明......12
電話をかける......12
トーン信号の送信......15
登録先に電話する......14
発信履歴......14
メモリー番号......14
戻る......13
やり直す......13
リダイヤル......14
電話をかける......12
トーン信号の送信......15
登録先に電話する
アドレス帳......14

な

ナビ
音声コマンドリスト......31
住所の入力......17
操作......15
ナビの音声コマンド

案内開始..21
案内再開..21
位置データがあるアドレス帳の読み上げ....................................20
現在地...16
施設...19
自宅...20
住所の入力....................................17
前回の目的地................................19
地図向き..16
通過点...18
電話番号検索................................18
到着予想時刻................................16
登録地...20
道路の種類....................................16
ナビの説明....................................15
メモリー地点................................20
目的地を検索する..........................20
目的地を設定する..........................17
目的地をメモリする......................19
戻る...19
郵便番号検索................................18
ルート案内を中止する..................21
ルートを変更する..........................21
ETC カード...................................17
VICS...17

は

はじめに...8
発信履歴...14
汎用
音声コマンド...................................8
ヘルプ
ディスプレイ情報..........................10
ヘルプ機能...38
ヘルプの音声コマンド
アドレス帳の説明..........................22
説明...38
テレビの説明................................26
ナビゲーションの説明..................15
ラジオの説明................................23
CD の説明.....................................25
DVD の説明..........................25, 26
ヘルプ表示...42

ま

マルチファンクションステアリングホイール...8
メディアインターフェース................27
戻る
電話の音声コマンド......................13
ナビの音声コマンド......................19

ら

ラジオ
音声コマンドリスト......................33
操作...23
ラジオの音声コマンド
オートプリセット..........................23
交通情報..24
シークアップ/シークダウン.........23
周波数バンドの選択......................23
選局...23
放送局読み上げ.............................24
放送局選択....................................24
ラジオの説明................................23
リダイアル...14

英字

Bluetooth®オーディオ......................28
CD
音声コマンドリスト......................33
操作...25
DVD
音声コマンドリスト (オーディオ)...34
音声コマンドリスト (ビデオ).......34
操作...25
DVD の音声コマンド
グループ 1 ～ 9............................25
チャプター....................................27
次のトラック................................25
トラック..25
ハードディスク.............................26
ヘルプ DVD.........................25, 26
前の曲...25
メモリーカード.............................26
DVD オーディオ...........................25
ETC カード...17
iPod®...28
TV

操作...26
USBの音声コマンド
USB..26
VICS...17

マーク

この説明書には以下のマークがあります。

⚠ **警告**
警告項目は、お客様ご自身やお車に同乗の方々の健康を脅かすような危険への注意を喚起するものです。

! 安全事項は、お客様の車両の損傷につながるような危険への注意を喚起するものです。

ℹ 役立つ知識または他の情報

▶	このマークはお客様が従うべき指示を示します。
▶	連続したこのような複数のマークは従うべきいくつかのステップがある指示を示します。
▷ ページ	このマークは特定の話題についての詳細情報がどこにあるかを示します。
▷▷	このマークは次のページに続く警告または指示を示します。
画面設定	このフォントはマルチファンクションディスプレイ / COMAND ディスプレイの表示メッセージを示します。
(発声マーク)	このマークはお客様が発声することを示します。
(音声出力マーク)	このマークは音声認識機能から音声出力があることを意味しています。
(ディスプレイマーク)	このマークはシステムがディスプレイにメッセージを表示していることを示します。

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます。

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。

お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称は、オプションにより異なる場合があります。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

以下のものは、車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべてをお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

使用に関する安全

⚠ **警告**
音声認識機能は交通状況からお客様の注意をそらすことがあります。

事故の原因になったり、お客様自身や他の方がけがをするおそれがあります。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。

運転を開始する前に音声認識機能に慣れ親しんでください。

⚠ 警告

緊急時など緊張しているときは、声が変わることがあります。これにより音声認識機能が正しく作動しない場合があります。

結果として、希望の電話接続が迅速にできないことがあります。注意がそれ、緊急時には状況の概要を失い、事故の原因になります。

このため、緊急時には音声認識機能は使用しないでください。

概要 8

概要

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書では、取扱説明書発行時 点でお客様の車両に装着可能な、すべて の標準およびオプション装備について記 載しています。国により、仕様が異なる 場合があります。本書に記載されている すべての機能が、お客様の車両に当ては まらない場合があることにご留意くださ さい。このことは、安全に関する装備や 機能にも当てはまります。

ℹ 車両の取扱説明書にあるメルセデス・ベンツ指定サービス工場についての情報をお読みください。

概要

音声認識機能は車両の装備によって以下のシステムを操作することができます。

- 電話
- ナビ
- アドレス帳
- オーディオ (ラジオ、CD/DVD プレーヤー、メモリーカード、ハードディスク、メディアインターフェース、USB、Bluetooth® オーディオ)
- テレビとビデオ

個々の単語のあいだで区切らずに音声コマンドを発声してください。 存在しない、または適切でない音声コマンドを入力した場合は、音声認識機能は"Excuse me?" または"もう一度繰り返してください" と答え、新しい音声コマンドを要求します。

音声認識機能は、重要な音声コマンドを入力したときは確認を行ない、適切でない入力を行なったときは知らせます。

音声コマンドの種類

音声認識機能の音声コマンドの種類は以下のように区別されます。

- 汎用音声コマンド
  これらはいつでも呼び出すことができる音声コマンドです（ヘルプや電話の音声コマンドなど）。
- 専用音声コマンド
  これらは作動しているアプリケーションでのみ利用できる音声コマンドです (例：ナビの "到着予想時間" など)。

アプリケーションの作動

特定の音声コマンドは、現在ディスプレイに表示されているアプリケーションや、そのとき聴いているオーディオソースを参照します。

例えば、ナビのアプリケーションがディスプレイで作動しているときにラジオを聴いている場合は、音声認識を使用して両方のアプリケーションを操作できます。

音声認識を使用して他の機能を操作したい場合は、最初に適切な音声コマンドで該当するアプリケーションに切り替えます。

マルチファンクションステアリングを使用しての操作

音声認識機能はオンにしてから約 30 秒後に操作可能になります。

ℹ 音声認識機能はいつでも中止できます。

例：M クラス、ステアリング

①		音声認識機能を中止する
②		音声認識機能を開始する
③		通話を受ける
		通話を終える
	−	音量を下げる
	+	音量を上げる
		ミュート

音声認識の開始

▶ イグニッションをオンにします（取扱説明書を参照してください）。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

信号音が聞こえます。音声認識が開始されます。

▶ 音声コマンドを発声します。

音声認識の中断/継続

音声認識を中断する

リストがディスプレイに表示される場合は、音声コマンド"一時停止"を使用して音声認識を中断できます。

▶ 音声コマンド"一時停止"を発声します。その後に COMAND コントローラーを使用して、項目を選択できます。

音声認識を継続する

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

音声認識機能が再開されます。

音声認識の中止

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

または

▶ 音声コマンド"中止"を発声します（ナビの項目を録音しているとき、または音声認識学習しているとき以外）。

または

▶ COMAND システムのいずれかのスイッチを押します。

音量の調整

▶ 音声認識を開始します。

▶ "説明"のような音声コマンドを発声します。

▶ + または − スイッチを押します。

音声が出力されている間に、音量が上がるか、または下がります。

または

▶ COMAND システムの音量コントロールで音声出力の音量を調整します（車両の取扱説明書を参照してください）。

ヘルプ機能

音声認識機能には、音声による多くのヘルプ機能があります。音声コマンド"電話の説明"を発声すると、音声認識機能は電話の主要な音声コマンドをすべて読み上げます。

特定のアプリケーションのヘルプコマンドは関連するセクションにあります。さ

らなるヘルプコマンドはこちらをご覧ください(▷ 30 ページ)。

ヘルプ機能のさらなる情報はこちらをご覧ください(▷ 38 ページ)。

ディスプレイ情報

音声のヘルプ機能は、ディスプレイのヘルプ表示によって補うことができます。(▷ 42 ページ)ヘルプ機能がオンのときは、音声認識を開始するときに、そのときに可能な最も重要な音声コマンドがディスプレイに表示されます。

音声認識機能がさらなる選択を要求する場合は、結果のリストがディスプレイに表示されます。

該当する場合は、行番号または内容を発声することにより、リストの項目を選択できます。 音声コマンド"次のページ"または"前のページ"を使用して、リストをスクロールできます。

音声コマンド"一時停止"で音声認識を中断します。 COMAND コントローラーを使用して、リストで希望する項目を見つけることができます。 音声コマンド"修正"で情報を再び入力するように促されます。

選択リストが表示されているときに スイッチを押すと、1 行目にある項目が選択されます。

リストが読み上げられている間に スイッチを押すと、現在の項目が選択されます。

図は COMAND システム(例：M クラス)

電話 12
ナビ 15
アドレス帳 21
ラジオ 23
CD/DVD オーディオモード 24
テレビ/DVD ビデオモード 26
外部機器 27

電話

留意点

⚠ 警告

車両で携帯通信機器を操作するときは、そのときに運転している国の法規制に従ってください。

走行中に通信機器を操作することが認められている場合は、道路や交通状況が許すときのみ使用してください。交通状況から気がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

低反射外部アンテナのついていない双方向ラジオやファックスは、車両の電子機器に干渉し、車両の操作の安全性、そしてお客様自身の安全を危険にさらすことがあります。これらは離された低反射外部アンテナに正しく接続されているときにのみ使用してください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 電話番号を発声して電話接続をする
- アドレス帳から番号をダイヤルする
- 電話帳を読み上げさせる
- トーン信号を送信する
- 番号をリダイヤルする

音声認識機能は以下のことを検知します。

- 電話がオンになっていること
- 電話が Bluetooth®により接続されていること
- 電話が適切な携帯のネットワークにログインしていること
- ダイヤルが可能なこと

ダイヤルが可能でないときは、音声認識機能がこの旨のメッセージを出します。

ℹ 走行中は電話のキーは使用できません。

▶ **電話のアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 音声コマンド"電話"を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下に説明する電話の音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"電話の説明"

音声コマンド"電話の説明"を使用して、電話の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます。 (▷ 38 ページ)

"電話をかける"

音声コマンド"電話をかける"を使用して、電話番号をダイアルできます。

0 から 9 の数字と"＋"の文字が使用できます。

"＋"は"00"のような国際電話コードの代わりになります。

連続した一連の数字の形式、または 3 ～ 5 桁のような数字のブロックとして電話番号を発声してください。

音声認識機能は数字の各ブロックの後に(数字の各ブロックの間に約 2 分の 1 秒のポーズを入れて)、認識した数字を繰り返します。 その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。

音声認識の例

電話をかける

電話番号をお話しください。

0 1 3 0

0 1 3 0

5 0 0 5

0 1 3 0 5 0 0 5
発信
電話します

終了の音声コマンド"はい"の代わりに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押すと、特定の番号をダイアルすることもできます。

"確認"

番号を入力しているとき、音声コマンド"確認"を使用して、発声したすべての数字を音声認識に繰り返させることができます。 そして音声認識機能は、入力を続けるように促します。

音声認識の例

電話をかける
電話番号をお話しください。
0 1 3 0
0 1 3 0
確認
0 1 3 0 電話番号をもう一度お話しください。
5 0 0 5
0 1 3 0 5 0 0 5
発信
電話します

"戻る"

番号を入力しているとき、音声コマンド"修正"を使用して、最後に発声した数字のブロックを訂正できます。 この音声コマンドを発声すると、音声認識機能は数字の最後のブロックを消去して、ここまでに入力された数字を繰り返します。 そして音声認識機能は、入力を続けるように促します。

音声認識の例

電話をかける
電話番号をお話しください。
0 1 3 0
0 1 3 0
5 0 0 5
0 1 3 0 5 0 9 5
戻る
0 1 3 0 電話番号をもう一度お話しください。
5 0 0 5
0 1 3 0 5 0 0 5
発信
電話します

"やり直す"

番号を入力しているとき、音声コマンド"やり直す"を使用して、入力されたすべての数字を消去できます。 この音声コマンドを発声した後で、音声認識機能は追加する数字または音声コマンドを入力するように促します。

音声認識の例

電話をかける
電話番号をお話しください。
0 1 3 0
0 1 3 0
5 0 0 5
0 1 3 0 5 0 0 5
やり直す
入力された電話番号を削除します。電話番号をもう一度お話しください。
0 3 7 3
0 3 7 3
3 9 1
0 3 7 3 3 9 1
発信
電話します

"登録先に電話する"(アドレス帳)

音声コマンド"登録先に電話する"を使用して、アドレス帳から名前を選んで電話できます。

氏名項目を発声できます。

名前の項目では、以下の方法で名前の項目を発声できます。

- 名のみ
- 姓のみ
- 名および姓
- 姓および名

音声認識の例

登録先に電話する

電話をかける相手のお名前をお話しください

鈴木太郎

項目に 1 つ以上の電話番号があるときは、音声認識機能がこのことをたずねてきます。

プライベートですか？ 仕事関連ですか？

仕事関連

鈴木太郎　仕事関連 電話します

"メモリー番号"

この音声コマンドを使用して、携帯電話に登録した電話番号を呼び出すことができます。 携帯電話メモリの電話番号は 99 まで使用できます。

音声認識の例

メモリー番号

メモリー番号をお話しください。

5

5

電話番号が選択されます。

"登録先を検索"

(▷ 22 ページ)

"電話番号検索"

(▷ 18 ページ)

"電話帳読み上げ"および電話番号のダイアル

音声コマンド"電話帳読み上げ"を使用して、電話番号が登録されているアドレス帳の項目すべてを読み上げさせることができます。 必要に応じて項目を選択できます。

音声認識の例

電話帳読み上げ

システムは電話番号があるすべてのアドレス帳の項目を読み上げます。

▶ **名前および番号を選択する**：希望の項目でマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

項目に 1 つ以上の電話番号があるときは、音声認識機能がこのことをたずねてきます。

プライベートですか？ 仕事関連ですか？

プライベート

"リダイヤル"

音声コマンド"リダイヤル"を使用して、もっとも最近発信した番号をリダイヤルできます。

"発信履歴"

音声コマンド"発信履歴"により、最近ダイアルした電話番号のリストを呼び出すことができます。 これらの番号の中から電話をかけることができます。

"着信履歴"

音声コマンド"着信履歴"により、最近着信した電話番号のリストを呼び出すことができます。 これらの番号の中から電話をかけることができます。

トーン信号の送信

通話中に音声認識機能をして、トーン信号を送信することができます。

▶ 通話中に、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 必要な数字（"0"から"9"）を発声します。

または

▶ 必要な単語"アスタリスク"または"シャープ"を発声します。

▶ 終了させる音声コマンド"はい"を発声します。
システムは入力した番号に発信します。

ナビ

留意点

⚠ **警告**

ナビゲーションシステムは一般の交通状況を考慮したり、危険や障害物を認識することはできません。そのため、どのような危険をも認識しそれらに反応できるように常に一般の道路や交通状況に気をつけてください。

ルート案内は推奨を提供するだけです。常に道路交通法に従い、一般の状況に運転スタイルを合わせてください。お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 目的地の入力
- 郵便番号で検索する
- 電話番号で検索する
- 通過点を入力する
- 施設を検索する
- 地図に施設を表示する
- 以前の目的地を選択する
- 地図を表示する
- 地図を拡大/縮小する
- 地図の向きを設定する
- 地図のモードを切り替える
- 目的地メモリーを読み上げる
- ルート案内を開始/中断する
- VICS 情報を表示させる
- ルートを再検索する

▶ **ナビのアプリケーションを選択する：**
マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 音声コマンド"ナビ"を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下に説明するナビの音声コマンドのいずれかを発声します。

音声コマンド

必要な住所データがすべて入力されるまでルート案内を開始することはできません。 住所を入力する音声コマンドは(▷ 17 ページ)をご覧ください。

"ナビの説明"

音声コマンド"ナビの説明"を使用して、ナビゲーションシステムの主要なコマンドを読み上げさせます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。 主要なカテゴリーを選択すると、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

"現在地"

この音声コマンドを使用して、地図上の現在の車両位置を表示できます。

"到着予想時間"

音声コマンド"到着予想時間"を使用して、現在計画されているルートに基づいて到着予想時間を読み上げさせることができます。

"現在の道路"

音声コマンド"現在の道路"を使用して、道路の種類と、可能であれば道路の番号を読み上げさせることができます。

"音声案内オフ"または"音声案内オン"

この音声コマンドを使用して、ルート案内の音声出力のオン/オフを切り替えることができます。

音声コマンド"音声案内オン"を使用すると、音声認識機能は最後の音声案内も繰り返します。

"詳細"または"広域"

これらの音声コマンドを使用して、ディスプレイの地図の縮尺を大きくしたり小さくしたりできます。

"最小スケール"または"最大スケール"

これらの音声コマンドを使用して、地図の表示を最小または最大の縮尺に直接設定できます。

地図の縮尺の直接入力

"100 メートルスケール"のような以下の音声コマンドを使用して、地図表示の縮尺を直接入力できます。

以下の設定が可能です。

- 50 m、100 m、200 m、500 m
- 1 km、2 km、5 km
- 10 km、20 km、50 km
- 100 km、200 km

"コンパス"

この音声コマンドを使用して、ディスプレイにコンパスを表示できます。

"地図向き"

ℹ この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップあるいはヘディングアップに切り替えることができます。

"ノースアップ"

ℹ この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップに設定できます。

"ヘディングアップ"

ℹ この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをヘディングアップに設定できます。

"2D 表示"

この音声コマンドを使用して地図を 2D で表示できます。

"3D 表示"

この音声コマンドを使用して地図を 3D で表示できます。

ルート案内中に表示を切り替える

ルート案内が作動しているとき、異なる表示に切り替えることができます。

以下の表示が可能です。

- ルート全体の表示
- 分岐点案内図の表示
- 分岐点案内図の非表示
- 高速案内図の表示
- 高速案内図の非表示
- 都市高 3D 図の表示
- 都市高 3D 図の非表示

VICS 音声コマンド

VICS(道路交通情報通信システム)は車両に交通渋滞の即時情報を供給します。 この情報は文字または図形でディスプレイに表示されます。

以下の音声コマンドが可能です。

- "VICS 高速表示"
- "VICS 高道表示オフ"
- "VICS 一般道表示"
- "VICS 一般道表示オフ"
- "VICS すべての道路表示"
- "VICS すべての道路表示解除"
- "VICS 渋滞情報表示"
- "VICS 渋滞表示オフ"
- "VICS 順調線表示"
- "VICS 順調線表示オフ"
- "VICS 規制情報表示"
- "VICS 規制情報表示オフ"
- "渋滞情報"
  音声認識機能は、交通渋滞付近の地図エリアを表示したいかをたずねます。

"ETC カード"

この音声コマンドを使用して、ETC カードの状態を照会できます。

住所の入力

システムは音声認識により、ルート案内へ導きます。 有効な住所を入力するとすぐに、音声認識機能はルート案内を開始したいかをたずねてきます。

"目的地設定"

i この機能は日本語でのみ使用できます。

音声認識の例

目的地設定

検索方法を選択してください。施設で検索しますか？住所で検索しますか？

住所

都道府県名から住所をお話しください

"住所の入力"

i この機能は日本語でのみ使用できます。

音声コマンド"住所の入力"を使用して、県や市、通りを発音して住所を入力できます。

もし、そのときお客様のいる県に市がある場合は、県を発音する必要はありません。

音声認識の例

住所の入力

都道府県名から住所をお話しください

東京都港区六本木

- よろしければ検索 続ける場合は続きの住所をお話しください 修正する場合は修正と 最初からやり直す場合はやり直すとお話しください
- 検索
- ルート案内を開始してよろしいですか？
- はい
- システムはルート案内を開始します。

"通過点 1 設定"

ℹ この音声コマンドは目的地点が設定されていて、ルート案内が作動しているときにのみ使用できます。

この音声コマンドを使用して、4 つまでの通過点を現在のルート案内に選択できます。 これをするために、目的位置の地図が表示されていなければなりません。

音声認識の例

- 通過点 1 設定
- 通過点を高速道路上に設定しますか？
- はい
- ここを通過点 1 に設定します

"通過点 1 削除"

この音声コマンドを使用して既に設定した通過点を削除できます。 通過点を設定していない、または選択した通過点を既に通過した場合は、システムはそのように知らせます。

音声認識の例

- 通過点 1 削除
- 通過点 1 を削除します

郵便番号検索

音声コマンド"郵便番号検索"を使用して、郵便番号を入力してルート案内を開始できます。

ℹ 郵便番号を一桁ずつ発声してください。 10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。

音声認識の例

- 郵便番号の入力
- 郵便番号を発音してください。
- １０６８５０６
- １０６８５０６よろしければ検索 修正する場合は修正 最初からやり直す場合はやり直すと発音してください
- 検索
- 郵便番号 １０６８５０６の該当地点が見つかりました。地図を表示します
- ルート案内を開始してよろしいですか？
- はい
- システムはルート案内を開始します。

電話番号検索

音声コマンド"電話番号検索"を使用して、電話番号を入力してルート案内を開始できます。

ℹ 電話番号を一桁ずつ発音してください。 10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。

音声認識の例

- 電話番号検索
- 電話番号をお話しください。
- ０３１２３４５６７８
- ０３１２３４５６７８よろしければ検索 修正する場合は修正 最初

からやり直す場合はやり直すとお話しください

- 検索
- 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 を 表示します
- ルート案内を開始してよろしいですか？
- はい
- システムはルート案内を開始します。

"戻る"

住所の一部を入力した場合は、音声コマンド"戻る"を使用して最後の入力を繰り返すことができます。

"施設"

ℹ この機能は日本語でのみ使用できます。

音声コマンド"施設"を使用して、施設(ガソリンスタンド、空港、駅など)を選択できます。すべてのまたは一部の施設を入力できます。

音声認識の例

- 施設
- 施設名や場所をお話ください
- 東京タワー
- 東京タワーで検索します
- システムは東京タワーを含む施設の番号付けされたリストをディスプレイに表示します。
- 該当する施設が 10 件見つかりました 検索方法の行を指定してください 更に絞り込む場合は、詳しい施設名か場所もしくはジャンルをお話しください
- 3 行目
- 3 行目を選択します。 東京タワーを表示します。 ルート案内を開始してよろしいですか？
- はい
- システムはルート案内を開始します。

施設のアイコンを表示する/非表示にする

ℹ 地図の縮尺が 500 メートルまたはそれ以下に設定されているときのみ、施設のアイコンが表示されます。

以下の音声コマンドを使用して、地図上のマークを表示したり非表示にすることができます。

- "***表示"
- "地図アイコンオフ"

*** には以下のものを入れることができます。

- レストラン
- コンビニエンスストア
- ガソリンスタンド
- 駐車
- 銀行
- メルセデスベンツサービス
- 個人設定

音声認識の例

- レストラン表示
- レストランアイコンを表示します。

"目的地の履歴"

音声コマンド"目的地の履歴"を使用して、以前選択した目的地のリストから目的地を再び選択することができます。

"位置データ"

音声コマンド"位置データ"を使用して、現在表示されている地図データをアドレス帳に保存することができます。

位置データ
検索するお名前をお話ください
鈴木太郎[1]

"メモリー地点"

音声コマンド"メモリー地点"を使用して、現在の車両位置を保存できます。

メモリー地点
メモリー地点に登録しました

"登録地 1"

この音声コマンドを使用して、事前に登録した目的地を呼び出し、この目的地までのルート案内を開始できます。 3 つまでの目的地を事前に設定できます。

音声認識の例

登録地 1
登録地 1 を目的地に設定しますか？
はい
登録地 1 を目的地に設定しました

"自宅"

この音声コマンドを使用して、自宅住所までのルート案内を開始できます。 このためには、事前に COMAND システムに自宅住所を登録しなければなりません。

音声認識の例

自宅
自宅を目的地に設定しますか？
はい
自宅を目的地に設定します

"登録先に案内する"

音声コマンド"登録先に案内する"を使用して、事前に登録した住所を選択して、ルート案内を開始できます。

音声認識の例

登録先に案内する
検索するお名前をお話しください
鈴木太郎
鈴木太郎が選択されました ルート案内を開始してよろしいですか？

"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"

音声コマンド"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"を使用して、位置データが登録されているアドレス帳の名前すべてを読み上げさせることができます。 希望であれば、ルート案内の目的地として名前を設定できます。

音声認識の例

位置データがあるアドレス帳の読み上げ
システムがアドレス帳の目的地メモリーから名前を読み上げます。

▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

多くの利用可能な住所があるときは、システムは、"鈴木太郎に電話しますか？案内しますか？" とたずねてきます。
はい
どちらに案内しますか？
プライベート

システムはルート案内を開始します。

1 入力の例

"案内開始"

音声コマンド"案内開始"を使用して、目的地が表示されているときに、ルート案内を開始できます。

- 案内開始
- ルート案内を開始します

"案内中止"

この音声コマンドを使用してルート案内を中止できます。

音声認識の例

- ルート案内中止
- ルート案内を中止します

"案内再開"

この音声コマンドを使用して、ルート案内が中断された後に再開できます。

音声認識の例

- 案内再開
- ルート案内を再開します

ルートを変更する

以下の音声コマンドを使用して、すでに検索されたルートを変更できます。 特定のカテゴリーを選択できます。

- 有料道路優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 別ルート
- 再探索
- 迂回ルート

音声認識の例

- 距離優先
- 距離優先で再探索します

アドレス帳

留意点

⚠ 警告

常に交通状況に注意を集中してください。

運転を開始する前にアドレス帳機能に慣れ親しんでください。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

概要

アドレス帳を使用して、個人情報を項目の形式に登録できます。

音声認識機能を使用して、アドレス帳に登録されている電話番号をダイヤルしたり、登録されている住所にルート案内を開始できます。

アドレス帳の氏名欄にあるヨミガナは音声認識機能によって認識できます。 アドレス帳項目の認識は入力された氏名によります。

選択している間は、以下の方法でタグを発声できます。

- 名のみ
- 姓のみ
- 名および姓
- 姓および名

アドレス帳項目の以下のことを確認します。

- 姓と名などの氏名項目が正しい欄にあること
- 略語や頭文字が使われていないこと
- 氏名に不必要なスペースがないこと
- ヨミガナの項目がカタカナで記載されていること

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 氏名に電話する
- アドレス帳を読み上げる
- 目的地メモリーをリストアップする (▷ 20 ページ)
- アドレス帳を開く
- アドレス帳から項目を開く
- 電話帳を聞く (▷ 14 ページ)

▶ **アドレス帳のアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 音声コマンド"アドレス帳"を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下に説明するアドレス帳音声コマンドの一つを発声します。

音声認識機能は、例えば以下のようにどのような処理を実行したいのかをたずねます。

- 対応する電話番号に電話する
- 登録した住所にルート案内を開始する
- 項目を開く

音声コマンド

"アドレス帳の説明"

音声コマンド"アドレス帳の説明"を使用して、アドレス帳の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます。

"登録先に電話する"

(▷ 14 ページ)

"登録先を検索"

音声コマンド"登録先を検索"を使用して、アドレス帳で氏名を探します。

"アドレス帳読み上げ"

音声コマンド "アドレス帳読み上げ" を使用して、アドレス帳のすべての氏名項目を聞くことができます。この間に項目を選択できます。

音声認識の例

アドレス帳を読み上げる

システムはアドレス帳のすべての項目を読み上げます。 多くの項目があるときは、システムはどの項目から読み上げ始めるかをたずねます。

ℹ 氏名を言わないときは、音声認識機能はアドレス帳の全ての項目を読み上げます。

▶ **アドレス帳の項目を選択する：** 選択する項目で スイッチを押します。

項目が選択されます。

音声認識機能は選択した項目でどのような処理を実行したいのかをたずねます。

"電話帳読み上げ" と電話番号のダイアル

(▷ 14 ページ)

"位置データがあるアドレス帳の読み上げ" と目的地へのナビ

(▷ 20 ページ)

ラジオ

留意点

⚠ 警告

常に交通状況に注意を集中してください。

運転を開始する前にラジオ機能に慣れ親しんでください。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。 お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 放送局を探す
- 周波数を選択する
- 交通情報に切り替える
- 放送局のリストを聞く
- 周波数バンド(FM または AM)を選択する

受信して登録したすべての放送局の名前は音声認識で利用できます。

▶ **ラジオのアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 音声コマンド"ラジオ"を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下に説明するラジオの音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"ラジオの説明"

音声コマンド"ラジオの説明"を使用して、ラジオのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます 。最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。 主要なカテゴリーを選択すると、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

周波数バンドを選択する

以下の音声コマンドを使用して、周波数バンドを設定できます。

- "FM1"
- "FM2"
- "AM1"
- "AM2"

"シークアップ"または"シークダウン"

以下の音声コマンドを使用して、放送局サーチを開始して、次の放送局を設定できます。

- "シークアップ"
- "シークダウン"

周波数を選択する

ラジオの周波数を FM 帯(76.0 ～ 90.0 MHz)および AM 帯(531 ～ 1602 kHz)で直接選択できます。 音声認識機能は"周波数"や"てん"、"メガヘルツ"、"キロヘルツ"の単語も認識できます。

音声認識の例

81.3MHz

音声認識機能は周波数を設定します。

"オートプリセット"

音声コマンド"オートプリセット"を使用して、現在設定されている周波数バンドをスキャンして、受信できる放送局を登録できます。

音声認識の例

- オートプリセット
- FM 1 でオートプリセットを開始しますか？
- はい
- オートプリセットを開始します

"プリセット 0"から"プリセット 9"

音声コマンド"プリセット 0"から"プリセット 9"を使用して、事前登録した放送局をプリセット番号で呼び出すことができます。

音声認識の例

- プリセット 1
- 音声認識機能はそのプリセットと関連のある周波数を設定します。

"放送局選択"

ⓘ この機能は日本語でのみ使用できます。

音声コマンド"放送局選択"を使用して、放送局を選択します。

音声認識の例

- 放送局選択
- プリセットリストに登録されている放送局名をお話しください
- FM 横浜
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局名例えば FM 横浜"

ⓘ この機能は日本語でのみ使用できます。

この音声コマンドを使用して、プリセットリストから放送局を直接選択できます。 放送局の名前が変わってしまった場合は、使用できません。

音声認識の例

- 例）放送局　FM 横浜
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局リスト読み上げ"および放送局の選択

音声コマンド"放送局リスト読み上げ"を使用して、プリセットリストに登録されたすべての放送局のリストを読み上げさせることができます。 希望であれば、放送局も選択できます。

音声認識の例

- 放送局読み上げ

システムは放送局リストを読み上げます。

希望する放送局が読み上げられたとき

▶ スイッチを押す。

システムは対応する周波数を設定します。

"交通情報"

音声コマンド"交通情報"は音声認識機能を交通情報に切り替えます。

CD/DVD オーディオモード

留意点

⚠ 警告

常に交通状況に注意を集中してください。

運転を開始する前に CD プレーヤーの機能に慣れ親しんでください。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。 お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- CD/DVD を選択する
- トラックを選択する
- DVD オーディオモードでグループを選択する
- ミュージックレジスターにアクセスする

▶ **CD/DVD のアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの [スイッチ] スイッチを押します。

▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します。
  - "CD"/"BGM CD"
  - "DVD オーディオ"/"BGM DVD オーディオ"

▶ マルチファンクションステアリングの [スイッチ] スイッチを押します。

▶ 以下に説明する CD/DVD の音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"CD の説明"または"DVD の説明"

以下の音声コマンドを使用して、CD または DVD プレーヤーのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

- "CD の説明"
- "DVD オーディオの説明"

"CD"、"BGM CD"、"DVD オーディオ"または"BGM DVD オーディオ"

音声コマンド"CD"または"DVD オーディオ"を使用して、挿入された CD または DVD に切り替えることができます。

音声コマンド"BGM CD"または"BGM DVD オーディオ"を使用して、挿入された CD または DVD に切り替えることもできます。 現在表示されている画面(例：ナビ)を維持することができます。

"1 曲目"から"99 曲目"

ⓘ "ミュージックレジスター"、"メディアインターフェース"、"USB"や"メモリーカード"のメディアには最大で 999 トラックを選択できます。

音声コマンド"トラック 1"から"トラック 99"で、挿入した CD/DVD からトラックの番号を選択できます。

"次のトラック"

音声コマンド"次のトラック"を使用して次のトラックを選択できます。

"前のトラック"

音声コマンド"前のトラック"を使用して、前のトラックを選択できます。

"グループ 1"から"グループ 9"

音声コマンド"グループ 1"から"グループ 9"で、挿入された DVD オーディオのグループを選択できます。

"次のグループ"または"前のグループ"

以下のコマンドを使用すると、DVD オーディオの次または前のグループを選択できます。

- "次のグループ"
- "前のグループ"

ⓘ ミュージックレジスターおよび MP3 では、これらの音声コマンドは以下の形式で使用されます。"次のアルバム"、"前のアルバム"または"次のフォルダー"、"前のフォルダー"。

"メモリーカード"または"BGM メモリーカード"

音声コマンド"メモリーカード"または"BGM メモリーカード"を使用して、COMAND システムの SD メモリーカードに切り替えることができます。

"ミュージックレジスター"または"BGM ミュージックレジスター"

音声コマンド"ミュージックレジスター"または"BGM ミュージックレジスター"を使用すると、COMAND システムの内部ハードドライブ(ミュージックレジスター)に切り替えることができます。

"USB"または"BGM USB"

音声コマンド"USB"または"BGM USB"を使用して、COMAND システムの USB 機器に切り替えることができます。

テレビ/DVD ビデオモード

留意点

⚠ 警告

常に交通状況に注意を集中してください。

運転を開始する前にテレビ機能に慣れ親しんでください。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。 お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- テレビをオンにする
- チャンネルを変更する
- DVD ビデオモードでタイトルを選択する

▶ **テレビのアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの [🗣] スイッチを押します。

▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します。

- "テレビ"
- "ティーブイ"
- "DVD"/"BGM DVD"

▶ マルチファンクションステアリングの [🗣] スイッチを押します。

▶ 以下に説明するテレビの音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"テレビの説明"または"DVD の説明"

音声コマンド"テレビの説明"または"DVD の説明"を使用して、テレビと DVD のすべての音声コマンドを読上げさせることができます。

"シークアップ"または"シークダウン"

以下の音声コマンドを使用して、放送局サーチを開始して、次の放送局を設定できます。

- "シークアップ"
- "シークダウン"

"放送局選択"

ℹ この機能は日本語でのみ使用できます。

音声コマンド"放送局選択"を使用して、放送局を選択します。

音声認識の例

[🗣] 放送局選択

[🔈] プリセットリストに登録されている放送局名をお話しください

NHK 総合

音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局 <放送局名>"

ⓘ この機能は日本語でのみ使用できます。

この音声コマンドを使用して、プリセットリストから放送局を直接選択できます。 放送局の名前が変わってしまった場合は、使用できません。

音声認識の例

放送局 NHK 総合

音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局リスト読み上げ"および放送局の選択

ⓘ この機能は日本語でのみ使用できます。

音声コマンド"放送局リスト読み上げ"を使用して、プリセットリストに登録されたすべての放送局のリストを読み上げさせることができます。 希望であれば、放送局も選択できます。

"オートプリセット"

音声コマンド"オートプリセット"を使用して、放送局サーチを実行して、現在十分受信可能な放送局を登録できます。

音声認識の例

オートプリセット

テレビ 1 でオートプリセットを開始しますか？

はい

オートプリセットを開始します。

"DVD"または"BGM DVD"

音声コマンド"DVD"を使用して、挿入された DVD に切り替えることができます。

現在表示されている画面(例：ナビ）を保持したい場合は、音声コマンド"BGM DVD"を使用することができます。

"チャプター 1"から"チャプター 999"

DVD ビデオを見ているとき、音声コマンド"チャプター 1"から"チャプター 999"を使用して、挿入された DVD でチャプターを選択できます。

"次のチャプター"または"前のチャプター"

DVD ビデオで、以下の音声コマンドを使用して、挿入された DVD で次のまたは前のシーンを選択することができます。

- "次のチャプター"
- "前のチャプター"

外部機器

ⓘ 現在表示されている画面(例：ナビ）を維持したい場合は、"BGM メディアインターフェース"のような音声コマンドを使用することができます。

"メディアインターフェース"または"BGM メディアインターフェース"

音声コマンド"メディアインターフェース"または"BGM メディアインターフェース"を使用して、メディアインターフェースに接続している外部機器に切り替えることができます。

"Bluetooth オーディオ"または"BGM Bluetooth オーディオ"

音声コマンド"Bluetooth オーディオ"または"BGM Bluetooth オーディオ" を使用して、外部の Bluetooth®オーディオ機器に切り替えることができます。

"iPod"または"BGM iPod"

音声コマンド"iPod" または "BGM iPod"を使用して、メディアインターフェースに iPod が接続されている場合は、iPod®に切り替えることができます。

概要 30
全般的な音声コマンド 30
電話の音声コマンド 31
ナビの音声コマンド 31
アドレス帳の音声コマンド 32
オーディオおよびビデオの音声コマンド 33

概要

このセクションには、音声認識機能の操作についての主要な音声コマンドがあります。使用可能な音声コマンドは車両の装備によります。

ℹ 操作を容易にするため、複数の音声コマンドを持っている機能があります。これらは、リストでは区切り線でグループ化され、相互に使用できます。

全般的な音声コマンド

- アドレス帳

- オーディオ

- CD

- ナビゲーション
- ナビ

- DVD

- DVD オーディオ

- ラジオ

- 電話

- ビデオ

- 説明
- 使えるコマンド

- すべての音声認識機能

- 音声認識の説明
- いつでも使えるコマンド

- ラジオの説明
- ラジオで使えるコマンド

- 電話の説明
- 電話で使えるコマンド

- アドレス帳の説明
- アドレス帳で使えるコマンド

- CD の説明
- CD で使えるコマンド

- DVD の説明
- DVD ビデオで使えるコマンド

- DVD オーディオの説明
- DVD オーディオで使えるコマンド

- ナビの説明
- ナビで使えるコマンド
- ルート案内の説明
- ルート案内で使えるコマンド

- メディアインターフェースの説明
- メディアインターフェースで使えるコマンド

音声認識で以下の音声コマンドを使用できます。

- はい
- 決定

- 中止
- キャンセル

- いいえ

- 一時停止
- ポーズ

- 戻る
- 修正
- 訂正

- プリセット０～９

- 次
- 次のページ

- 前
- 前のページ

- <1>～<7>
- 1 行目～ 7 行目
- 1 行目～ 7 行目
- 1 行目～ 7 行目

電話の音声コマンド

- 電話

- 電話をかける
- 電話発信
- 発信

- 電話帳読み上げ
- 電話帳を読み上げる

- リダイヤル

- 発信履歴

- 着信
- 着信履歴

電話の音声認識で以下の音声コマンドを使用できます。

- 発信

- 確認

- 戻る
- 訂正
- 修正

ナビの音声コマンド

- ナビゲーション
- ナビ

- 音声案内
- 音声案内オン
- ガイダンス開始
- 音声案内開始

- 音声案内オフ
- 音声ガイダンス中止

- 地図操作

- 詳細

- 広域

- 25 メートルスケール
- 50 メートルスケール
- 100 メートルスケール
- 200 メートルスケール
- 500 メートルスケール
- 1 キロスケール
- 2 キロスケール
- 5 キロスケール
- 10 キロスケール
- 20 キロスケール
- 50 キロスケール
- 100 キロスケール
- 200 キロスケール

- 最小スケール

- 最大スケール

- ノースアップ
- ヘディングアップ

- 地図向き

- 2 D 表示
- 3 D 表示

- コンパス

- VICS 高速表示/VICS 高速道表示オフ
- VICS 一般道表示/VICS 一般道表示オフ
- VICS 道路情報表示/VICS 道路情報オフ
- VICS 渋滞情報表示/VICS 渋滞表示オフ
- VICS 順調線表示/VICS 順調線表示オフ
- VICS 規制情報表示/VICS 規制情報表示オフ
- 渋滞情報

- 現在地

- 現在の道路

- 目的地設定
- 目的地入力

- 案内開始
- ここに行く

- ルート案内中止
- 案内中止

- 目的地の履歴

- 郵便番号
- 郵便番号検索

- 施設
- 施設を探す

- レストラン表示

- コンビニ表示

- ガソリンスタンド表示

- 駐車場表示

- 銀行表示

- メルセデスベンツサービス表示

- 個人設定表示

- 地図アイコンオフ

- 通過点 1 ～ 4 設定

- 通過点 1 ～ 4 削除

- 登録地 1 ～ 3

- 自宅

- 登録先に案内する

- 有料道路優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 別ルート
- 再探索
- 迂回ルート

- 位置データ
- メモリー地点

アドレス帳の音声コマンド

- アドレス帳

- アドレス帳の読み上げ
- アドレス帳を読み上げる

- 登録先を探す
- 登録先を検索

- 位置データがあるアドレス帳の読み上げ
- 位置情報が登録されているアドレス帳の読み上げ

アドレス帳の音声認識では以下の音声コマンドを使用できます。

- 確認
- 発信
- 検索

- <1>～<7>
- 1 行目～ 7 行目
- 1 行目～ 7 行目
- 1 行目～ 7 行目

- <アドレス帳項目>の自動車

- <アドレス帳項目>の一般電話

- <アドレス帳項目>の携帯

- <アドレス帳項目>のプライベートの携帯

- <アドレス帳項目>の仕事関連の一般電話

- <アドレス帳項目>の仕事関連

- <アドレス帳項目>のプライベート

- 仕事関連
- 会社関連
- 仕事関係

- 自動車

- 一般電話

- 携帯

- 仕事関連の自動車

- 仕事関連の一般電話

- 仕事関連の携帯

- プライベート

- プライベートの自動車

- プライベートの一般電話

- プライベートの携帯

オーディオおよびビデオの音声コマンド

ラジオ

- ラジオ

ラジオがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

- 76.0 ～ 90.0
- 76.0 メガヘルツ～ 90.0 メガヘルツ
- 周波数 76.0 ～周波数 90.0
- 周波数 76.0 メガヘルツ – 周波数 90.0 メガヘルツ

- FM1
- FM2
- AM1
- AM2

- シークアップ
- 次の放送局

- シークダウン
- 前の放送局

- 放送局<放送局名>

- 放送局選択

- 放送局リスト読み上げ
- 放送局読み上げ

- プリセット 1

- オートプリセット

CD プレーヤー

- CD
- BGM CD
- オーディオ CD

CD プレーヤーがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

• トラックアップ • 次のトラック
• 前のトラック • トラックダウン
• トラック 1 ～トラック 99 • 1 曲目～ 99 曲目

ハードディスク

• ハードディスク • ミュージックレジスター • BGM ミュージックレジスター

DVD オーディオ

• DVD オーディオ • BGM DVD オーディオ

DVD オーディオモードがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

• 次のグループ
• 前のグループ
• グループ 1 ～ 9
• 次のトラック • トラックアップ
• 前のトラック • トラックダウン
• トラック 1 ～トラック 99 • 1 曲目～ 99 曲目

メディアインターフェース

• メディアインターフェース • BGM メディアインターフェース

テレビおよびビデオ

• ビデオ • DVD • BGM DVD
• テレビ • ティーブイ
• シークアップ • 次の放送局
• シークダウン • 前の放送局
• 放送局<放送局名>
• 放送局選択
• 放送局リスト読み上げ • 放送局読み上げ
• プリセット 1 ～プリセット 12
• オートプリセット
• チャプター 1 ～チャプター 999
• 次のチャプター
• 前のチャプター

メモリーカード

• メモリーカード • SD カード • BGM メモリーカード

USB
• USB • BGM USB • USB メモリー

Bluetooth®オーディオ
• Bluetooth オーディオ • BGM Bluetooth オーディオ

iPod®
• iPod • BGM iPod

トラブルの解決方法 38

トラブルの解決方法

ヘルプ機能

音声認識機能は、利用者を支援する広範囲のヘルプ機能を持っています。

音声認識機能のヘルプ機能には以下のものがあります。

- 音声認識機能の最適な操作における注意事項
- 可能な音声コマンドのリスト

ヘルプの音声コマンド

"音声認識の説明"

音声コマンド"音声認識の説明"を使用して、音声認識機能の最適な操作方法についての情報を得ることができます。

"説明"

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押して、音声コマンド"説明"を発声します。
現在選択されているアプリケーションの説明を受け取ります。

例えば"電話をかける"と発声した後、音声返答中に音声コマンド"説明" を発声すると、音声認識の続け方についての説明を聞くことができます。

音声コマンド"電話の説明"を使用するなどして、特定のシステムのヘルプ機能を要求することもできます。

ヘルプ表示を作動させると、可能な音声コマンドの候補をディスプレイで確認できます (▷ 42 ページ)。

数字を入力する

数字を入力する

- "0"から"9"の数字を使用できます。
- 電話番号を 3 から 5 桁のブロックで発声します。

音声認識を改善するために

原因	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
音声認識機能がお客様を理解しない。	運転席から音声認識機能を操作していない ▶ 運転席からのみ音声認識機能を操作します。
	強調しすぎたり、とても大きく、またはとても小さく話している。 ▶ 強調しないで、わかりやすくはっきりと音声コマンドを話します。
	風量が最も高い設定になっている、または開いている窓からの風の音がする。 ▶ 大きな音の干渉を防ぎます。
アドレス帳の項目が認識されない。	アドレス帳に入力された名前に十分な違いがあるように聞こえない、または書かれているように発音されていない。 ▶ アドレス帳の項目が適切であることを確認します。 アドレス帳項目の以下のことを確認します。 • 姓と名などの氏名項目が正しい欄にあること • 略語や頭文字が使われていないこと • 氏名に不必要なスペースがないこと • ヨミガナの項目がカタカナで記載されていること ▶ 音声コマンド"アドレス帳読み上げ"を発声します。 音声認識機能がアドレス帳を読み上げます。 ▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
放送局リストの項目が認識されない	▶ 音声コマンド"放送局読み上げ"を発声します。 音声認識機能が放送局リストを読み上げます。 ▶ 希望する放送局が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。 放送局が選択されます (▷ 24 ページ)。

ヘルプ表示 42
音声認識学習 42
言語設定の変更 44

ヘルプ表示

ヘルプ表示を使用して、有効な音声コマンドの候補をディスプレイに表示できます。

COMAND システムの設定メニューでヘルプ機能のオン/オフを切り替えることができます。

COMAND システムの構成や動作原理については対応する取扱説明書にあります。

ヘルプ表示のオン/オフを切り替える

▶ SYS スイッチを押す。

または

▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。
システムメニューが表示されます。

▶ システム → 音声認識設定を選択します。

▶ ヘルプ表示 を選択します。
ヘルプ表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様自身の声に細かく合わせ、音声認識を向上させることができます。

音声認識学習は、車両が停車しているときのみ開始できます。セッションが開始すると、音声指示でシステムがトレーニングの説明をします。

ℹ 音声認識学習が作動している場合、他の利用者の音声認識の質に影響を与えることがあります。 他の利用者の音声認識の質を損ねる場合には、音声認識学習をオフにします。

英語の音声認識学習は 2 部で構成されています。 1 部目では数字、2 部目では特定の音声コマンドのシステムの音声認識学習を行います。

日本語の音声認識学習は、システムを数字および特定の音声コマンドで音声認識学習する 1 部で構成されています。

システムはいつでも出荷時の設定にリセットできます。

ℹ 英語の音声認識学習は完全に行なう必要はありません。 数字の学習をすることでも、認識率は大きく改善されます。 1 部目の後に学習を中止することができます。

COMAND システムの構成や動作原理については対応する取扱説明書にあります。

新しい音声認識学習を開始する

▶ SYS スイッチを押す。

または

▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。
システムメニューが表示されます。

▶ システム → 音声認識設定 → 音声認識学習を開始するを選択します。
さらに情報が必要かどうかをたずねるメッセージが表示され、聞こえます。

▶ はいまたはいいえを選択します。
英語の音声認識学習

- いいえを選択すると、音声認識学習の 1 部目が開始します。
- はいを選択すると、さらに情報が表示され、聞こえます。

日本語の音声認識学習

- いいえを選択すると、音声認識学習が開始されます。
- はいを選択すると、さらに情報が表示され、聞こえます。

または

▶ **ディスプレイを閉じる:** COMAND コントローラーを押します。
数字または音声コマンド[2]音声認識学習したいかをたずねるメッセージが聞こえます。

英語の音声認識学習：1 部の終わりに、2 部目を開始したいかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

英語の音声認識学習

▶ はいまたはいいえを選択します。
- いいえを選択すると、音声認識学習が中止されます。1 部目のデータは自動的に登録されます。
- はいを選択すると、2 部目が開始します。

2 部目が終了すると音声認識学習は完了します。 この結果に対するメッセージが表示されます。 2 部目のデータは自動的に保存されます。

英語の音声認識学習：音声認識学習の 1 部目または 2 部目の中止

▶ 中止を選択します。
本当に中止したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はいまたはいいえを選択します。
- はいを選択すると、音声認識学習が中止されます。終了した部分からのデータは保存されません。
- いいえを選択すると、進行中の部分が再び開始されます。

日本語の音声認識学習：音声認識学習の中止

▶ 中止を選択します。
本当に中止したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はいまたは いいえを選択します。
- はいを選択すると、音声認識学習が中止されます。データは保存されません。
- いいえを選択すると、音声認識学習が再開されます。

既存の音声認識学習結果を削除する

▶ SYS スイッチを押す。

または

▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。
システムメニューが表示されます。

▶ システム → 音声認識設定 → 音声認識学習結果を削除するを選択します。
本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はいまたはいいえを選択します。

音声認識学習の作動/停止

▶ SYS スイッチを押す。

または

▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。
システムメニューが表示されます。

▶ システム → 音声認識設定 → 音声認識学習結果を利用するを選択します。
音声認識学習のオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。

[2] 英語の音声認識学習の場合のみ

言語設定の変更

システム言語を変更して音声認識機能の言語を変更することができます。

音声認識機能は英語および日本語を認識します。

- ▶ SYS 機能スイッチを押します。

または

- ▶ 基本機能メニューバーのシステムを選択します。
  システムメニューが表示されます。
- ▶ 設定 → 言語 / Language を選択します。
- ▶ 希望の言語を選択します。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

http://www.mercedes-benz.co.jp

http://www.daimler.com

編集オフィス

Daimler AG の書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複写、翻訳または複製することはできません。

編集終了 24.10.2011

1665843981

Order no. 6515 6952 76   Part no. 166 584 39 81   Edition ÄJ 2012-1a